

会 議 録

会 議 名	平成30年度第一回野田市青少年問題協議会
議題及び議題毎の公開又は非公開の別	1 正副会長の選出について (公開) 2 平成30年度の青少年健全育成に関する取組について (公開) 3 平成31年度の青少年健全育成に関する取組方針について (公開) 4 青少年センター運営審議会所掌事務の統合について (公開)
日 時	平成31年2月28日 (木) 午前10時から午前11時57分まで
場 所	野田市保健センター3階 大会議室
出席委員氏名	会長：高橋保 副会長：佐藤裕 委員：飯塚祐子、瀬能千恵子、岩井定男、大塚恵、加本美香、白井英雄、横川しげ子、杉本洋子、山崎保、岡田宏之、杉戸一寿、佐藤秀夫、鈴木洋子、石川和重、立澤英子、武田隆子
欠席委員氏名	山本由紀子、末吉敏和、小松一正、長妻美孝、瀧川雅子
事務局等	鈴木有 (市長)、杉山一男 (教育委員会 生涯学習部長) 村田弘信 (教育委員会 指導課主幹 (兼) 指導主事) 横島司 (青少年課長 (兼) 青少年センター長) 相澤和子 (青少年課長補佐 (兼) 青少年係長) 藤井敬子 (青少年課主任主事) 須田雅也 (青少年課主任主事) 阿部栄祐 (野田警察署少年係長)
傍 聴 者	無し
議 事	第1回野田市青少年問題協議会の会議結果は、次のとおりである。

相澤青少年課長補佐

<開会>

定刻となりましたので、平成30年度第一回野田市青少年問題協議会を始めさせていただきます。

本日はお忙しい中、御出席を賜り誠にありがとうございます。

司会を務めさせていただきます、青少年課の相澤と申します。

どうぞよろしくお願いいたします。

早速ではございますが、皆様方も既に御承知のとおり、去る1月24日、市内の小学校4年生が自宅で死亡し、その父親、母親が相次いで傷害容疑で逮捕されるといった痛ましい事件がございました。

つきましては、会議に先立ち、お亡くなりになられた 栗原心愛さんの御冥福をお祈りし、黙^{もくど}禱^{とう}をささげたいと存じます。

御起立をお願いいたします。

黙^{もくど}禱^{とう}

(出席者全員 黙^{もくど}禱^{とう}する。)

相澤青少年課長補佐

お直りください。

ありがとうございました。御着席ください。

それでは、これより会議を進めさせていただきます。始めに、本日の資料について、御確認をお願いします。

(以下の配布資料について確認を行う。)

- ・平成30年度 第1回野田市青少年問題協議会 会議次第
- ・資料1 平成30年度 教育委員会の事業（青少年健全育成に関する取組）について
- ・資料2 平成31年度 青少年健全育成の取組みについて
- ・資料3 フロー図
- ・青少年センター運営審議会所掌事務の統合資料の名簿
- ・平成30年度 野田市子ども安全情報について
- ・席次表
- ・パワーポイントの写し
- ・青少年問題協議会設置条例文

相澤青少年課長補佐

資料に不備等はありませんでしょうか。

何かございましたらお申し出くださいますようお願いいたします。

それでは次に、本日の会議の周知事項について御説明申し上げます。

本日の会議では、個人情報等の不開示情報を取り扱うことがあります。

ませんので、原則として公開することとなっております。

したがいまして、市ホームページに開催予定を掲載し、市民に周知をし、傍聴の希望があればこれを認めております。

会議の傍聴は、会議資料を御覧いただきながら行い、傍聴できる人数は、先着5名とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

また、本日の会議は、会議録作成のため、録音機を使用させていただきますので、こちらにつきましても御了承いただきますようお願いいたします。

さらに本日の会議資料及び会議録は、市役所及び関宿支所の行政資料コーナーに配置し閲覧できるようになっておりますので、こちらにつきましても御承知のほどよろしくお願いいたします。

続きまして、本日の出席者数について御報告いたします。

本日の会議を実施するに当たり、瀧川委員、山本委員、末吉委員、長妻委員からは欠席の御連絡を、武田委員からは少し遅れるとの御連絡をいただいております。また、まだお見えになられていない方もいらっしゃいますので、現時点では委員総数23名中、17名の出席となっております。

したがいまして、野田市青少年問題協議会設置条例第6条第2項に定める委員の半数以上が出席されておりますので、本日の会議は成立していることをここに御報告申し上げます。

なお、現時点で傍聴の申込みはございませんが、審議途中で傍聴希望があった場合には、入室いただくこととなりますので、御了承願います。

それでは、これより、平成30年度第1回野田市青少年問題協議会を開催いたします。

開会に当たり鈴木市長より皆様に御挨拶を申し上げるところではございますが、他の会議と重なってしまい、到着し次第の御挨拶とさせていただきます。御容赦のほどよろしくお願いいたします。

それでは、佐藤教育長より委員の皆様に御挨拶を申し上げます。

皆さん、おはようございます。本日は、平成30年度青少年問題協議会の開催に当たり、御多用のところお集まりいただき、ありがとうございます。先ほどの黙禱もくたうに対し御協力ありがとうございました。

まず、始めに私から、皆様もマスコミ、テレビ等の報道で御存知のように、1月24日に小学校4年生女子児童が亡くなられたという事件に関しまして、教育長としての責任を、強く重く感じております。特に、栗原心愛さんが命を失ったということに関して、強く

佐藤教育長

	<p>責任を感じているところでございます。心からお詫び申し上げます。</p> <p>また、委員の皆様、市民の皆様にも、御心配や御迷惑をお掛けして、心よりお詫び申し上げます。</p> <p>現在、少しでも虐待が疑われる児童、生徒、幼児がいないか、幼稚園、保育園、保育所、小中学校、全ての子供の状況と安全を2月19日までに直接確認しました。</p> <p>さらに、虐待を疑われるなど、支援を擁する要保護児童が1月時点で160名いますが、全ての安全性をチェックし、全ての子供達の状況と安全を2月12日までに直接確認しました。</p> <p>また、当該校の小学校には市からのスクールカウンセラー等を派遣し、子供達の心のケアに万全を備えているところです。</p> <p>教育委員会としましては、今回の事件に正面から向き合い、野田市児童虐待事件再発防止合同委員会の中で事実を正確に見据え、何が問題であったのか、しっかり検証してまいります。そして、今後二度とこうした事件が起こらないよう再発防止に向けて全力で取り組んでまいります。今回、失ってしまった信頼を取り戻すのは容易ではない、というふうに認識しております。市民の教育活動を一つ一つ積み重ね、信頼回復に向けて学校と教育委員会が一丸となって取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>続きまして、委員の御紹介をさせていただきます。</p> <p>席次表の右上の委員から時計回りで御紹介させていただきます。</p>
相澤青少年課長補佐	高橋委員でございます。
相澤青少年課長補佐 高橋委員	おはようございます。教育委員の高橋でございます。どうぞよろしくお願いたします。
相澤青少年課長補佐 佐藤秀夫委員	佐藤秀夫委員でございます。 興風会で館長を務めております佐藤秀夫といたします。どうぞよろしくお願いたします。
相澤青少年課長補佐 鈴木委員	鈴木委員でございます。 おはようございます。遅れて申し訳ございませんでした。保護司の鈴木でございます。よろしくお願いたします。
相澤青少年課長補佐 石川委員	石川委員でございます。 おはようございます。野田市民児協の方から出ております石川和重です。よろしくお願いたします。
相澤青少年課長補佐 岩井委員	岩井委員でございます。 おはようございます。自治会連合会の岩井定男でございます。よろしくお願をいたします。
相澤青少年課長補佐 瀬能委員	瀬能委員でございます。 おはようございます。野田市ボランティア連絡協議会からまいり

相澤青少年課長補佐 白井委員	<p>ました。よろしくお願いいたします。</p> <p>白井委員でございます。</p> <p>はい。おはようございます。野田市体育協会、白井と申します。よろしくお願いいたします。</p>
相澤青少年課長補佐 大塚委員	<p>大塚委員でございます。</p> <p>おはようございます。青少年相談員の方からまいりました大塚恵と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
相澤青少年課長補佐 加本委員	<p>加本委員でございます。</p> <p>おはようございます。木間ヶ瀬の青少年補導員から来ました。初めてなのでよろしくお願ひします。</p>
相澤青少年課長補佐 飯塚委員	<p>飯塚委員でございます。</p> <p>野田市子供会育成連絡協議会から参りました飯塚と申します。よろしくお願いいたします。</p>
相澤青少年課長補佐 立澤委員	<p>立澤委員でございます。</p> <p>おはようございます。公募しました立澤と申します。よろしくお願いいたします。</p>
相澤青少年課長補佐 横川委員	<p>横川委員でございます。</p> <p>おはようございます。野田市女性団体連絡協議会から参りました横川でございます。よろしくお願いいたします。</p>
相澤青少年課長補佐 杉本委員	<p>杉本委員でございます。</p> <p>おはようございます。野田市文化団体協議会より参りました杉本洋子です。よろしくお願いいたします。</p>
相澤青少年課長補佐 山崎委員	<p>山崎委員でございます。</p> <p>七光台小学校の校長、山崎です。よろしくお願いいたします。</p>
相澤青少年課長補佐 岡田委員	<p>岡田委員でございます。</p> <p>おはようございます。福田中学校の岡田と申します。よろしくお願いいたします。</p>
相澤青少年課長補佐 佐藤裕委員	<p>佐藤裕委員でございます。</p> <p>教育長の佐藤です。よろしくお願いいたします。</p>
相澤青少年課長補佐 杉戸委員	<p>杉戸委員でございます。</p> <p>野田保健所の杉戸と申します。よろしくお願いいたします。</p>
相澤青少年課長補佐	<p>事務局につきましては、席次表のとおりでございますので、省略させていただきます。</p>
相澤青少年課長補佐	<p>それでは、これより議事に入りますが、本日は、平成30年8月1日の委員改選後、初の会議となりますので、まずは皆様方に、野田市青少問題協議会設置条例第5条第1項に基づく、会長の選出をお願いしたいと存じます。</p> <p>つきましては、会長が選出されるまでの間、杉山部長に仮議長を</p>

杉山部長	<p>お願いしたいと思いますが、皆様よろしいでしょうか。</p> <p>御異議がないようですので、杉山部長に仮議長をお願いしたいと思います。部長よろしく申し上げます。</p> <p>(杉山部長、仮議長席に移動)</p> <p>それでは、会長選出までの間、私が仮議長を務めさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>早速ですが、会長選出につきましては、野田市青少問題協議会設置条例第5条第1項により、委員の互選によると定められております。</p>
白井委員	<p>どのような選出方法がよろしいでしょうか。</p> <p>御発言がありましたら、よろしくお願いいたします。</p>
杉山部長	<p>はい。これまで高橋委員がやられておりましたので、継続というような形で高橋委員にお引き受けいただければと思います。</p> <p>はい、ありがとうございます。</p> <p>今、指名推薦ということで、高橋委員に継続してというお願いがございましたけれども、皆様、いかがでございましょうか。</p> <p>(拍手)</p>
杉山部長	<p>ありがとうございます。御異議がないようでございますので、高橋委員に会長をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、会長が決まりましたので、議長を交代いたします。</p> <p>高橋委員には、会長席に御移動いただき、御挨拶をお願いいたします。皆様、御協力ありがとうございました。</p> <p>(高橋会長、議長席に移動)</p>
高橋会長（議長）	<p>では、あらためまして、おはようございます。</p> <p>只今御指名いただきました高橋でございます。</p> <p>青少年が、明るく元気に安心して、目的に向かって頑張れる、そんな時代を築くことが、栗原心愛さんへの哀悼になるのかなというふうにも思います。そういうことで、力のない高橋ではございますが、皆様の御支援、御協力をいただきながら、精一杯頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>(拍手)</p>

高橋会長（議長）	<p>それでは、続きまして副会長1名の選出についてお諮りしたいと思います。副会長の選出につきましても、野田市青少年問題協議会設置条例第5条第1項の規定により、委員の互選によると定められております。</p> <p>どのような選出方法がよろしいでしょうか。御発言いただければありがたく思います。</p> <p>岡田委員お願いします。</p>
岡田委員 高橋会長（議長）	<p>はい。指名推薦がよろしいと思います。</p> <p>はい。指名推薦ということでございますが、御異議ございませんでしょうか。</p> <p>（異議無しの声有り）</p>
高橋会長（議長）	<p>御異議ないようでございますので、指名推薦により選出していきたいと思います。どなたか御推薦のほう、よろしく願いいたします。</p> <p>佐藤委員お願いします。</p>
佐藤秀夫委員 高橋会長（議長）	<p>佐藤教育長さんをお願いできればと思います。</p> <p>佐藤教育長さんということでございますが、ほかにはございませんでしょうか。</p> <p>ないようでございますので、佐藤教育長さんをお願いをしたいと思います。</p> <p>（拍手）</p>
高橋会長（議長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは佐藤教育長さん、副会長席に御移動いただきまして、御挨拶をお願いいたします。</p> <p>（佐藤副会長、副会長席に移動）</p>
佐藤裕副会長	<p>教育長の佐藤です。微力ながら精一杯頑張りたいと思います。よろしく願いしたいと思います。今回、連携ということをつくづく思い知らされました。単に報告、連絡、相談だけではなくて、相手の顔が見える、それぞれの団体でそれぞれの情報を持っているかと思うのですが、その情報が一方通行だけでは決して良くないということ、双方向でないといけないということを強く思いました。このような青少年健全育成に関する意見から見ても、双方向からの情報</p>

相澤青少年課長補佐

鈴木市長

交換ができるということが本当に必要なのかなと思います。どうぞよろしくをお願いします。

すみません。只今、市長が参りましたので、一言御挨拶を申し上げます。市長、よろしくをお願いします。

おはようございます。遅れての参加、大変申し訳ございません。今日は、大変お忙しい中、またお足元悪い中、会議に参加していただきましてありがとうございます。

また、日頃皆様方に、市政運営また、特に子供たちの育成ということで、いろいろな形で御参加をいただき活躍いただきますこと、こちらに関しましてもお礼申し上げます。

まず最初に、お詫びを申し上げたいと思います。

皆様御承知のとおり、それこそ、これから人生が始まるという、幼い児童の尊い命を落とす事件が発生してしまいました。この件につきましては、私を始め市といたしましても、痛恨の極みであり、責任の重大さを感じているところであります。心愛ちゃんに対して本当に申し訳なく、詫びても、詫びても、詫びきれないという気持ちで一杯でございます。

また、皆様方にもこの件につきまして御心配、御迷惑をお掛けしましたことに関しましても、あらためてお詫び申し上げます。大変申し訳ございませんでした。

今回の事件につきまして、まず子供たちのケアが一番ということで、各学校等に協力いただきまして、子供たちのケアに務めているところであります。また、二度と起こしてはならない、起こさないようにするためにということで、今、第一回目の合同委員会、児童虐待事件再発防止合同委員会が始まったところでございまして、まずそちらに挨拶ということで遅れてしまいました。その合同委員会を立ち上げ、今日第一回目の会議を開いているわけですけれども、その中で検証、そして再発防止策を検討していくところでございます。

また、市といたしましても、全体で検証を行いまして、再発防止に向けてどういうことができるのかということを含めて、庁内でも検討をしているところでございます。

いずれにしましても、二度と起こさないためにどうしたらいいかということを含めて、一日も早く対策を講じていきたい、そんな気持ちで一杯ですが、やはり昔から言うように、学校、家庭、地域が大切だということが必ず出てくると思うのですが、なかなかその機能が発揮できていない部分もあるのかなあ、と感じております。

それこそ我々が育った頃、50年以上前ですけれども、家庭の力、

学校の力、地域の力というのが一番大きかったのかなあとと思います。常に外で遊んでいても、必ず近所の人達が見守ってくれた、ちょっといたずらすれば、必ず叱ってくれる大人がいたということ。そして、お互いに家庭を干渉するのではなくて、常にお互いを気遣いながら地域社会ができていたのかなあとと思います。

それが、核家族化も含めて三世代で住む御家庭が少なくなってきたのと、隣近所とのお付き合いがなかなかうまくできていないというのがあって、どこまで立ち入っていいのかということも含めて非常に難しい環境になってきているのかなあとと思います。とはいえ、そんな中でやはり子供たちをいかに守ればいいのかということを考えた時に、やはり地域力というのが一番大きな力になると思いますので、そういった意味でも、自治会を始めですね、民生委員児童委員ほかいろいろな団体、地域で活躍している団体がございますので、その方たちともお話し合いをさせていただきながらこれからの対策を練っていきたいと思っておりますので、委員の皆様方にも、この青少年問題協議会というまさしく子供たちの協議会ですから、どうか忌憚きたんのない御意見を頂いてですね、これからの子供たち、そして今の子供たち、子供たちといっても、我々が育てた世代の親から、まず変わらなければならないというのが根本にありますけれども、そんな形でいろいろな意見を出していただいてこの問題に立ち向かっていきたいと思っておりますので、これからも御支援、御協力のほどよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

高橋会長（議長）

それでは、次の議題の方に入りたいと思います。議題の2、平成30年度の青少年健全育成に関する取組について事務局の方から御説明をお願いいたします。

横島青少年課長

はい。青少年課長の横島でございます。どうぞよろしくお願いたします。

日頃皆様におかれましては、青少年の健全育成に御尽力いただきまして大変ありがとうございます。それでは早速ですが、説明の方に入らせていただきます。

資料1でございますが、平成30年度の教育委員会の事業、青少年健全育成に関する取組につきまして、パワーポイントを使用しまして御報告させていただきます。先日、資料としてお送りさせていただきました報告事項の内容と同じでございますので、映像を見ながら説明をお聞きいただきたいと思います。

（パワーポイントの資料に沿って説明）

横島青少年課長	各事業とも、31年度も引き続き実施してまいりたいと考えておりますので、皆様方の御支援、御協力をお願い申し上げて、説明を終わらせていただきます。ありがとうございました。
高橋会長（議長）	事務局からの平成30年度の取組についての説明がありました。何か御質問、御意見等ございましたらお願いしたいと思いますが、施策的には三つありましたので、三つに区切っていきたいと思います。
白井委員	まず、最初に「青少年の健全育成活動」について何か御意見、御質問等ございましたらお願いいたします。 白井委員さん、お願いします。
横島青少年課長	地区別の懇談会の開催ですが、昨年の資料を見させていただいて、二つの地区が実施していなかったと思えます。また、今年の資料を見させていただいて、同じところがまた二つ実施していないような状況なのですが、これについては、時期的な面で調整がつかないと記載されておりますけれども、いかがしたのでしょうか。
高橋会長（議長） 白井委員 高橋会長（議長）	今年度は、二川、木間ヶ瀬、東部中学校区でやっていない形になっておりますが、東部、二川につきましては、市は参加できなかったのですが、地域独自に懇談会を実施しております。それから、木間ヶ瀬につきましては、うちの方からも何回か折衝したのですが、他の事業があるということで結果として実施することができませんでした。 白井委員さん、よろしいですか。 はい、分かりました。 ほかにはございませんでしょうか。
横島青少年課長	私の方から質問するのもあれなんです、今、青少年の健全育成について、この地区懇談会というのは、非常に大きな役割を占めているのではないかというふうに思う訳です。 そう考えると、今、お話しがありましたように、地域の皆さんの御理解、御協力をいただかないとこれを開けない、それだけの組織の参加があるわけですが、是非この辺の所をですね掘り起こしていただいて、来年度は少なくとも年に一度は、二度も開いているところもあるわけですから、一度は開けるように御尽力いただければと思うのですがいかがでしょうか。
高橋会長（議長） 佐藤裕委員	あおいそらの会議にも参加させていただきまして、意見を伺っていききたいと思います。 佐藤委員、何かございましたらどうぞ。 やはり、自治会、地区としてそれぞれやることはあるのでしょうけど、1年間の中ですから、都合がつかないというのはやっぱりい

横島青少年課長
高橋会長（議長）

かがなものかなあとと思います。是非、地域の声を聴くという意味では、1年間の中でどこかで折を合わせて、是非やるようにしましょう。

はい、分かりました。

ありがとうございました。というようなことで、思っていることがありましたら、是非、発言をしていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

ほかにございませんでしょうか。

また、これも私の方からで申し訳ありません。

サタデークラブの取組ですが、これについても本当に主催者の方は、指導者の方との折衝であるとか、会場確保であるとか、大変苦勞されているというのは分かるのですが、参加者が全体の11.1パーセント。昨年に比べて増えています。だけれども、全体から見て、11.1パーセントが高いのか低いのか、この辺はどういうふうに事務局としては考えられているのでしょうか。

横島青少年課長

11.1パーセントというのは、約10人に1人という割合ですので、決して高いとは言えないと思うのですが、今、土曜日というのは、民間の団体等でも様々なクラブ活動を実施していますし、習い事や塾等に通っている子供達もいるといった状況です。とはいえ、以前アンケートをとった際、家庭で過ごしているといった子供達が結構いることも事実のようですので、もう少し積極的にPRをして、是非そういった子供達を取り込み、増やしていきたいと思っております。

高橋会長（議長）
佐藤裕委員

それでは、佐藤委員

今回、フェスタの方を覗かせていただいたのですが、非常に中身の濃いものを行っているんですね。生け花にしても、折り紙にしても非常に中身の濃いものを行っているので、意外と、やっている内容についてまだまだ知られてないのかなと、そういう部分の周知に関しては、今後やっぱり、改革の余地があるのではないかと。本当に中身の濃いクラブ発表で、一年間の集大成の作品がたくさんあったので、そうしたことをもっと知っていただくような手立てが必要だなと思います。

高橋会長（議長）

ということで、このサタデークラブについてどうでしょうか。何か御意見があれば伺いたと思います。

白井委員

私も、平成14年、15年の時に、指導課の方でお世話になっていました。その時に、オープンサタデークラブとサタデースクールが同時に始まりまして、サタデースクールは小学校対象に行いまして、オープンサタデークラブについては中学生もそれに係るような

形でやっっていこうということで始まりました。

始まった頃は、中学生も部活があるというようなこともあったのですが、参加していたんですね。ところが年々、年を重ねるごとに、減ってきているというようなことで、非常に厳しい数字だと思います。

今は中学生0.5パーセントということなのですが、あの当時、30パーセント近くやっていたのかなあとと思います。講師の方を300人揃えていながら、この数字を上げていくということは、ちょっと難しいのかなと思いますので、どうなのでしょうかね、私、やめたほうがいいと思っははいけないのでしょうか、少し形を変えることが必要なのかと、土曜日、中学生は難しい面があるかと思っいますね。ですから、がらりと、15,6年続いてきているわけですが、サタデースクールは土曜授業の関係で廃止になりましたけれども、ちょうど過渡期に来ているのではないかと思いますので、御検討されたほうがいい面もあるかと思っいますね。もう少し、学校現場の方ではどうお考えになっているのか、岡田先生、いかがなものでしょうか。

高橋会長（議長）

それでは、白井委員さんの方から御意見がございましたので、学校の方としてはどうなのかという事で、申し訳ありません、校長先生お二人お見えになっておりますので、小学校、中学校、それぞれの立場があるかと思っいますので、個人的な考え、お聞かせ願えればと思っうのですが、岡田委員、よろしくお願いします。

岡田委員

中学生の参加率は本当に低い状況でございます。ただ、年々感じているのは、子供達の価値観が相当多様化していて、いろいろなところに興味関心が向いていて、なかなか一つの方向に絞りきるのが難しいなど、部活動の定着率もだんだん下がりつつあります。そういう中で、オープンサタデークラブに中学生を向けるというのも、なかなか難しい状況。それから、土曜授業の関係もありまして、子供たちの中では、自由な時間を過ごしたいという声もだんだん増えている。そういう時間の使い方を子供たちは望んでいるという風潮もございます。ただ、先ほどありまして、家の中にある状況をなんとかして外に引っ張り出さなくてははいけないという考えは私も持っっておりまして、それがどのような形がいいのかということについては、なお検討させていただきたいと思っっております。

高橋会長（議長）

ありがとうございます。山崎委員さんお願いします。

山崎委員

たくさん魅力的なクラブを継続くださっている、これは非常に有り難いことだと思っっております。子供たちも、最初はすごく意欲的に、あれ参加したい、これ参加したいとなるのですが、実際には

	<p>なかなか参加しないあるいは参加しても続かない状況。この前も実施している方とお話する機会があったのですが、継続できるように、その中身についても考えていくということが大事なのかなと感じています。</p> <p>ただやはり見ていると、野田の小学校の楽しいシーンを支えてくださっているということには間違いのないと思っておりますので、学校でもまた、呼び掛けをやっていきたいと思います。</p>
高橋会長（議長）	<p>ありがとうございました。他の委員さん方、自分のお子さん等を通して感じるがありましたら、またお願いしたいと思います。</p> <p>横川委員さん、よろしくお願ひします。</p>
横川委員	<p>サタデークラブの講師を平成14年度から指導しておりますけれども、先ほど、中学生、始めは30パーセントとおっしゃっていましたが、私が教えている「日常のお作法」では継続が比較的多く、中学生になっても継続の手続はしてくださるのですが、いざ中学校の生活が始まると、部活動が忙しいので行けないということがございまして、部活動を始められた中学生に参加いただくことは、なかなか難しいことと感じております。やはり、中学生になると部活動の方に力が行ってしまうのかなと思います。また、小学生については、ほかにもいろいろと内容の濃い講座がありますので、今年はお作法で、来年はバスケットを受けるといった具合に、いろいろなものを経験したい、楽しみたいという子供達もいますので、そういったこともお考えいただければ有り難いと思っております。</p>
高橋会長（議長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>杉本委員様</p>
杉本委員	<p>市民会館で生け花を担当しております、杉本と申します。</p> <p>市民会館は街の真ん中にありますので、いろいろな学校から生徒さんが集まっております、違う学校の生徒さん達がものすごく仲良くやっていて、とても素晴らしくいいことだなと思っております。</p> <p>それから、11.1パーセントに驚きました。生け花の場合はいつも部屋がいっぱいになるほど子供達が集まりますので、もっと大勢の子供達がサタデークラブに参加していると思っていたものですから、11.1パーセントという参加率には本当に驚きました。</p> <p>それと、生け花は和室でのお稽古になるのですが、今の子供たちは畳のないお家の子も多く、畳を掃く時に使う長い^{ほうき}箒を持ったことのない子供たちもおおり、お稽古が終わってお掃除をする時には、^{ほうき}箒の取りっこになるんです。私たちからすると、そういったことになること自体に驚かされるんですが、子供たちにとっては、その^{ほうき}箒がとても新鮮で、好奇心を揺さぶるものなんだなと思ひました。生け</p>

高橋会長（議長）

横島青少年課長

花以外でも、サタデークラブでいろいろ学べることは、とても素晴らしいことだと思います。

また私のところでは、1年生から6年生まで6年間続けてきている子もおり、半分以上の子が継続してくれています。ただ、来年は何をしようと移っていく子もいます。そしていろいろ経験をし、やっぱりお花が良かったといって戻ってくる子もいます。確かに参加する子供たちの人数は少ないかもしれませんが、やっていることはとてもいいことだと思いますので、続けるべきだと思います。

私、話が下手で申し訳ないのですがけれども、子供たち同士が仲良くできることと、親同士のつながりもできること、講座そのもの以外にもいろいろいいことがあると思うんですね。子供たちは土曜授業がありますから、サタデークラブの日に家族と出かけるからお休みしますという子も結構いまして、自由な時間がないという声も聞こえてきますけれども、参加している子供たちは楽しみだと言ってくれていますので、私たちもやりがいがあるなと感じています。

はい、ありがとうございました。ほかにはございませんでしょうか。

中学生の参加者についてでございますが、中学生になってからいきなりサタデークラブに入るという方はいらっしやなくて、先ほどお話にありましたように、小学生の頃からやっていて、そのまま継続して中学生になってもやりたいよという形の子が多少残っているといった状況です。

スポーツ系のクラブについてですが、現在バドミントンは、4会場で実施しているのですが、とても人気がありまして、日本選手が世界のトップクラスという状況もあると思うのですが、350人位の参加がございます。そこで今年度は、4会場合同での練習を総合公園体育館で行いました。その時にはやはり100名位の参加がありまして、普段交流のない子供たちが一緒に練習をし、大変盛況でした。また、来年度もやりたいねというお話を伺っております。

オープンサタデークラブのカリキュラムについてですが、野球やサッカーといったものは、会場とかの関係もありまして、なかなか難しいところがございます。バドミントンとか、剣道、柔道といった比較的スペースを要さないものについては、実施できているといった現状がございます。

また、オープンサタデークラブは広く浅くにはなるが、いろいろなことを子供たちに体験していただくということで開催しているといった事情もございます。あるいは、指導者を探さなくてはならないといったこともございます。

高橋会長（議長）

そうしたもろもろの課題はありますが、よりよいものとなるよう検討しながら、今後も継続していきたいなと思います。

はい、ありがとうございました。

ほかに何か御意見等、ございますでしょうか。

ないようであれば、大変、事務局の方では御苦労されるかと思いますが、できるだけ子供達がいきいきと生きていくためにも、こういう機会を利用してもらえればという気持ちがありますので、御努力いただきながら、よろしくお願ひしたいと思います。

ほかに、ございませんでしょうか。

ないようでございますので、二番目の「青少年の非行防止」に移りたいと思います。

特にございませんでしょうか。

ないようでございますので、三番目の「家庭教育学級の充実」という項目に入りたいと思います。

はい、白井委員さん。

白井委員

家庭教育講演の開催についてですが、1月31日の段階で1校だけの135名と説明されましたけれども、昨年のこの時点では、1214名が参加されたと同っていますので、この後、2月にもやられているのかお伺いします。今年は聴くところによると、10人も集まらないでやられた所もあったようです。

中学校を担当しておきながら本当に申し訳ないなと思うのですが、私なんかはこの出前の講演会を、小学校6年生の保護者の方を対象に、中学校での入学説明会の時に、抱き合わせで実施していました。説明会には多くの保護者が来られるので、実施していた訳です。それが、つい2、3日前にそんな話を聞いたものですからお聞きするのですが、それなりに終わっているんですね。

横島青少年課長

これについては、殆どの所が2月に開催となっております、まだ集計等が上がってきていない状況です。各学校単位では行われていると同っています。

高橋会長（議長）

はい、ということで、申し訳ございません。このデータはあくまで途中経過のものでして、最終的なものではないということですので御了解願います。

ただし、今、白井委員さんから発言がありましたように、参加者の度合いについては、いろいろな様子が見受けられ、実際に担当者の方が御苦労されているということはあるのかなと思います。そういう意味でも、今後この事業を続けていくということであれば、その辺りの保護者の皆さんに呼び掛ける方法、そういったものも考えていく必要があろうかと思ひますので、31年度の提案がありまし

横島青少年課長

たら御意見を頂けたらと思います。

ほかに何かございませんでしょうか。

それではないようでございますので、次の議題の方に入らせていただきたいと思います。

平成31年度青少年健全育成の取組方針について事務局の方から説明をお願いいたします。

はい。議題2について御説明いたします。

始めに、これまでの経過についてお話しをしたいと思います。

過去の青少年問題協議会において、地域社会が担う青少年育成機能の弱体化や、青少年関係団体の連携不足を解消について話し合いがなされ、各地域の団体、住民がそれぞれを尊重し、協力、助け合えるようなネットワーク作りが必要であろう、という御提言を頂きました。これを受けまして、教育委員会では、平成18年度より各中学校区におきまして、子供達の健全育成に御尽力、御協力いただいている団体の皆様にお集まりいただき、地区別懇談会を開催してきております。

それ以降、毎年ですね、各地域で青少年育成活動に直接携わってくれている方々の活動報告や御意見を頂き、それをもとに野田市の現状と課題を把握し、それを分類、整理し、これからどのように取り組めばよいかを本協議会の中で翌年の活動テーマについて御論議いただいた上で、再度地域の皆さんにフィードバックし、今後の地域活動に反映していただけるようお願いしてきております。

では、資料3のA3サイズのプロローグを御覧いただきたいと思えます。

(以降、資料2、資料3について説明)

横島青少年課長

31年度も、青少年健全育成活動のテーマそのものは変えてございませんが、今年度は女子児童を死亡させてしまった、守りきることができなかったという事件がございましたので、子供への暴力・虐待といった、そのあたりの対応についても取組内容の中に盛り込み、推進していただくような内容にしております。

よろしく御審議いただき、平成31年度の青少年健全育成活動のテーマについて御承認いただきたいと思えます。

高橋会長（議長）

はい、ありがとうございます。31年度の方針について事務局の方から説明がございました。御意見等ございましたらお願いしたいと思います。

ございませんか。

岡田委員

岡田委員お願いします。

この案に賛成します。福田地区では地域との連携を深めるとともに福田地区の4校の学校同士の連携を更に深めようということで、3年前から取り組んでおります。福田プロジェクトと名前を付けて、各校の、実際に生徒指導の前線に当たる教員等々を集めて、月に一度会議を行いながら、様々な健全育成についての議題を持ち寄って相談をしています。そういう中で、当然上がってくるのが挨拶の問題です。

家庭の教育力の低下というのは、実感としてこのところずっと感じております。そのバロメーターとして私は、朝御飯がどれだけきちっと摂られているだろうかということの一つのバロメーターとしています。ここ数年、福田地区も下がっておりまして、うちの学校も今年度ですと、70パーセント強の生徒しか、毎朝御飯を食べてきていないんです。それについて栄養教育も連携しながら、集会、学活、家庭科の授業を通して、それから通信、様々な警察の資料を通して家庭には呼びかけているんですけども、オニギリーズといって、子供たちに自分たちで朝御飯をちゃんと作って食べてきなさいというような調理実習を行いながら、朝御飯をしっかり食べてこようという取組をさせているところです。

それから、「福田ほっとは一とデー」につきましては、毎月10日の日を、インターネットから目をそらして家庭での^{団欒}を深めるそんな日にしようというプロジェクトを立ち上げまして、様々な団体さんにもお願いをしながら、こういう取組をしていますということを広げているところです。反応といたしましては、中学生のお兄ちゃん、お姉ちゃんが今日は遊んでくれたとか、10日の翌日に朝の段階で小学校の先生方がいろいろ尋ねてくれるんですけども、こんなふうなことがありましたとか、こういう強制力のないものがどれだけ通用するのだろうと、最初私どもも思ったのですけれども、やはり何回か、繰り返し、繰り返し、声を掛けていくことで、子供たちが意識化して、弟、妹たちが喜ぶのを見て、中学生たちもこういう一日って大事だなと、少しずつ感じ始めているところです。そういうものも含めて「早寝早起き朝ごはん」を継続していくことを、福田地区ではインターネットから目を離して、家庭での会話の推進に努めましょうといったところで今進めているところです。

二ツ塚小学校さんでは、挨拶メニューということで校長先生の表彰もしながら福田地区全体で今「あいさつ運動」についても推進しているところでございます。

高橋会長（議長）

ありがとうございました。地区の状況について説明がございまし

て積極的に取り組んでいただいていることがよくわかりました。

ということで、来年度のテーマにつきましては、3本上がっているわけですが、この3本でよろしいでしょうか。御賛同いただけますでしょうか。

(拍手多数、異議無しの声有り)

高橋会長（議長）

ありがとうございます。それでは、只今御決定いただきました内容で31年度は推進していくことになりました。

皆様にお願いがございますが、いろいろな機関の代表ということでお見えになっておりますので、是非このテーマについて、それぞれの機関で触れていただくと、より深くこの取組が推進されていくのではないかと思いますので、そういう点での御協力もよろしくお願ひしたいと思います。

また、事務局においてはホームページとかにも載せられていると思いますが、できるだけ多くの皆さんにこの取組について知っていただくということで、御尽力いただければありがたいと思いますので、こういう場で申し訳ございません、お願ひさせていただきます。

それでは、時間が長くなって申し訳ございません。議題4の青少年センター運営審議会所掌事務の統合について事務局の方から説明をお願いします。

横島青少年課長

野田市青少年センター運営審議会と本協議会との統合について御説明いたします。

野田市の行政改革大綱におきましては、附属機関等の肥大化、非効率を防止し、それぞれの必要性を厳密に検証したうえで廃止、統合を進めることとされております。

そこで、今ある附属機関について検証してきた結果、青少年課が所掌する青少年問題協議会と青少年センター運営審議会を統合することになりました。青少年の指導、育成、保護、矯正と幅広い問題について審議する野田市青少年問題協議会と、施設の運営に限定し協議する野田市青少年センター運営協議会とでは、その審議内容に開きはございますが、どちらも青少年に係る事項について審議していることや、委員の構成もほぼ同じ団体の委員で構成されていることから、統合を図り議論を深めようということで、野田市行政推進会議においても信認されております。

改正内容でございますが、青少年問題協議会の所掌事務に、青少年センター運営審議会の所掌事務を取り込み、青少年センターの運営管理については、野田市青少年問題協議会において協議する方向

	<p>で進めております。野田市青少年センター設置及び管理に関する条例、野田市青少年問題協議会設置条例及び同規則の一部を改正しまして31年4月1日からの施行を予定しております。</p> <p>青少年センター運営協議会には10名の委員がおりまして、そのうち青少年問題協議会に入っていない委員は柏児童相談所の所長1名ですので、児相の所長さんには新たに青少年問題協議会の委員として加わっていただく予定で考えております。</p> <p>本日お配りしました三枚綴りの名簿をご覧ください。一枚目が青少年問題協議会の現在の名簿です。二枚目が青少年センター運営審議会の名簿。そして三枚目が今回統合した際の名簿案となります。御覧いただくとお分かりいただけると思いますが、新たに柏児童相談所の所長さんを加えております。</p> <p>それから、統合となる青少年関係団体等につきましては、私の方でそれぞれの代表者の方に御説明をしていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p>
高橋会長（議長）	<p>只今の説明について、何か御意見、御質問ございましたら、お願いしたいと思います。</p>
横島青少年課長	<p>確認なのですが、この統合については、これから行われる3月議会で審議される。そして決定をされたらそのとおりになりますよということでしょうか。</p>
高橋会長（議長）	<p>はい、そのとおりでございます。そういう方向性で今回上程しております。</p>
横島青少年課長	<p>特に意見はないようでございますので、3月議会において今後統合する条例が可決されましたら、また青少年センター運営協議会の所掌事務についてご審議をしていくという方向性をここで御了解いただきたいと思います。</p>
高橋会長（議長）	<p>すみません。開催回数について付け加えさせていただきます。</p> <p>これまで青少年センター運営審議会は、年2回開催しておりました。一方、この青少年問題協議会は年1回の開催でした。今後、条例が可決し統合となった場合は、10月と2月、年2回開催しようと考えております。</p>
横島青少年課長	<p>はい、ありがとうございました。ということで、開催回数も変わるようでございます。</p> <p>それでは、次の議題の方に入ります。5のその他でございますが、事務局の方から「子ども安全情報」についてお願いします。</p>
	<p>「子ども安全情報」ですが、今年は昨年と比べまして非常に増えております。特に露出犯が多い状況です。そんな状況ではありますが、川間地区の方で露出犯が捕まったという話を警察からお聴きし</p>

<p>高橋会長（議長）</p> <p>相澤青少年課長補佐</p>	<p>てからは、それまで中央地区と川間地区とに二極化していた露出犯の情報が、川間地区では減ってきました。ただ、中央地区は依然として出没している状況です。</p> <p>いずれにいたしましても、先日の青少年センター運営審議会の際に、委員である校長先生からお話があったのですが、センターが実施するパトロールの際に、直接学校に寄っていただいて、学校が持つ情報を共有しようという御提案もいただいておりますので、来年度はまた、そうした形での取組等も実施しながら、子供たちを見守っていきたいと考えておりますので、委員の皆様方におかれましても、子供たちを見守っていただきますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>この件について、御意見、御質問ございますでしょうか。</p> <p>ございませんか。</p> <p>それでは、これまで以外のことで、何か御意見等ございましたらお願いしたいと思います。</p> <p>ありませんか。それでは大変長い時間、委員さん方には御協力をいただきありがとうございました。本日の会議は以上をもちまして全て終了いたしましたので、これで閉会とさせていただきたいと思いますが、事務局の方でお願いしたいと思います。</p> <p>長時間にわたりまして、各委員の皆さんから貴重な御意見等、誠にありがとうございました。</p> <p>これをもちまして、野田市青少年問題協議会を終了させていただきます。</p> <p>御苦勞様でした。</p> <p><閉会></p>
----------------------------------	--